

寝屋川市民のみなさんへ

寝屋川市において、今後大きな問題となる
「**2つの危機**」をご存知ですか？

「2つの危機」のうちの1つが「**都市インフラの危機**」です。ご存知の方も多いと思いますが、昨年
から「市立総合センター」(図書館・講堂・貸会議室など)が地震の影響で利用が出来なくなっていま
す。また、「エスポアール」の本館も取り壊しが決定しています。

公共施設や都市インフラの「老朽化」対策に、今後20年で「計 約2,222億円」、これから”毎年”
「約111億円」もの予算が必要になります。

もうひとつの危機が、「**市民生活の危機**」です。例えば、月額3,000円程度でスタートした介護保
険料は現在では月6,000円を超え、6年後には月9,000円を超えると試算されています。人口も
15年後には約3万人減少し20万人を切るとの試算があります。人口の減少により税収が減少する
一方で、高齢者の割合は大幅に増加します。

先ほどの公共施設の予算増もあり、もし「的確な対策を打ち出せなければ」、今後は介護関連の
サービスをはじめとした「各種行政サービスの削減」や「各種市民負担の増加」「治安の悪化」に直面
することになります。

「この街の2つの危機」の「**原因**」と、我々が提案する
「**その解決編**」については、**裏面**をお読み下さい。

元寝屋川市議会議員

ひろ
せ
広瀬
けいすけ



活動報告

Aチームとは？

「この街の二つの危機」(都市インフラの危機・市民生活の危機)に正面から取り組もうと結成された
新しいタイプの政治グループです。寝屋川の保守系の新進気鋭の若手議員らで作られています。

原因編

「この街の二つの危機」の原因は、この街が昭和35年から50年に経験した「急激な人口の増加」(日本一の人口増加率)にあります。

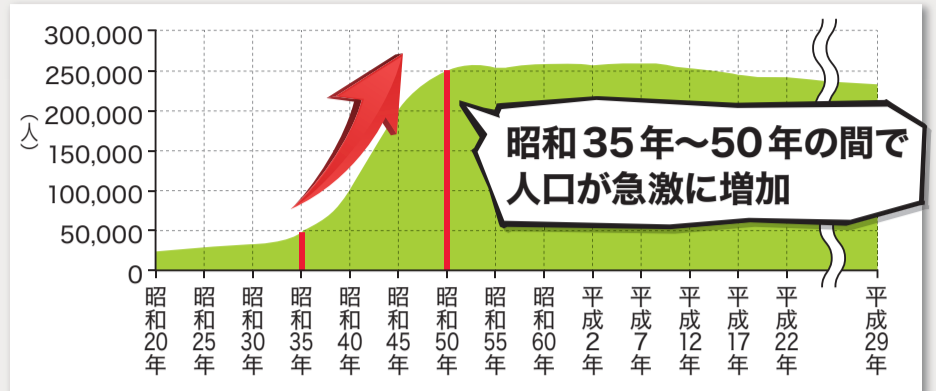


当時は毎年2万人、たった15年ほどで20万人もの人口が増加しました。この人口増加に対応するために、この街では小中学校を含めた各種の公共施設を短期間で一気に整備しました。この時期に建造した公共施設が、今後そろって耐用年数を超えてきます。



また、当時この街に転入されてきた世帯の多くが、小さな子供を持つ20~30代の若い方々でした。約40~50年を経過した現在、そうした皆さんが順次70歳を超えてきています。

■ 総人口の推移(寝屋川市役所ホームページより)



これは“寝屋川市特有”の問題です。

そして問題の根幹は、「人口の年齢構成のバランスの悪さ」にあります。

解決編

Aチームは、「**人口構成の見直し**」を提案しています。

①「都市計画」の積極的な見直しと、②「ターゲットを特定した政策メニュー」の導入により、「年齢・所得層を特定した新住民」の“移植”を行う必要があります。それにより「人口構成のバランスの悪さ」の是正を目指します。

「人口構成のバランスの悪さ」の是正により、以下の効果が見込まれると考えています。

A 増加した税収で、「老朽化した公共施設・インフラなどの整備・改修費用」をねん出することが可能となります。

B 増加した税収で、今後増加が見込まれる「高齢介護関連サービス」の財源を確保することが可能となります。

より具体的な「人口構成の見直し」プランについては、次号をご覧ください。また、ツイッター([@NeyagawaAteam](https://twitter.com/NeyagawaAteam)) 等でも順次解説していきます。

ひろ せ

広瀬けいすけ

元寝屋川市議会議員

- 戦国武将に例えたら?
…織田信長タイプ
- 三国志の登場人物では?
…曹操タイプ

他の議員評・市職員評

「斬新な発想」と「強力なリーダーシップ」を持つ。30代前半の若さで、13人を擁する市議会最大派のナンバー2の地位に就き、史上最年少で市議会副議長に選出されたのもこのためである。しかし、それゆえに時に「強権的」「独断的」にものごとを押し進め過ぎるとの評もある。

また、毎朝20年以上続けている「駅立ち」は有名である。

【プロフィール】

昭和45年8月31日「大阪万博の年」寝屋川市に生まれる。成美小学校、第九中学校、上宮高等学校、明治大学 政治経済学部経済学科 卒業。
明治大学 大学院 政治経済学研究科 博士前期課程 修了 政治学(行政学)修士号 取得(専門/自治体経営など)。
平成11年 28歳で寝屋川市議会議員選挙において最年少・史上最高得票でトップ当選。以後、3回連続トップ当選。
-現在- 自民党寝屋川市支部 幹事長

広瀬けいすけ事務所 〒572-0047 寝屋川市大利元町10-11 TEL-FAX 072-839-0001 メール hirose@777.plala.or.jp

HP <http://www.hirose-keisuke.com> Facebook <https://www.facebook.com/neyagawahirosekeisuke/> Twitter [@hirosekeisuke_](https://twitter.com/hirosekeisuke)

